

令和6年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	単元	単元	教科書	使用教材
福祉授業科	家庭	家庭総合	全	4	家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)	家庭総合学習ノート 自立・共生・創造(東京書籍)・Life Design 資料・成分表・HOT 2024(興亜出版)
学習の到達目標	<p>・生活を主体的に営むために必要な人の一定と家庭・家族及び福祉、食生活、健康などの基礎的知識について理解していること、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p>・生活を営む上で、家庭や地域及び社会における生活の中核となる役割を担い、解決を模索し、実践を評価・改善し、学習したことを実践に基づいて積極的に実践する力を身に付けている。</p> <p>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に関わり合い、寄り添って改善したりして、地域社会に貢献しようとするときに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。</p>					
学期	月	単元	学習内容	到達目標(学習のねらい)		
前期	4月	家庭科の学び方 生活に生かそう 家庭科の学び方	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 自己の家庭生活や地域の生活を踏まえて生活上の課題を特定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。		
			1 人生を振り返る	・自立した生活を営むために、生涯学習の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。		
		第1章 人生を見直す	2 目標を持つて生きる	・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。		
			1 人生をつくる	・人生を見直して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。		
		第2章 家庭をつくる	2 家族・家庭を見つめる	・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会的視点としての家族や家庭と法律を理解する。		
			3 これからの家庭と社会	・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活上の悩みつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるにほかならないような社会を実現すればいいか、考えて実践しようとする。		
	1 命を育む			・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する課題について理解する。		
	5月	第3章 子どもと共に育つ	2 子どもが育つ力を知る	・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。		
			3 子どもと関わる	・子どもが健康・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や教育について理解する。		
			4 子どもと子育てに対する理解を深める	・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの関わりや、親や教育者と子どもの関わり方の関係など、さまざまな体験をする。		
			5 これからの教育環境	・社会全体で子育てを支えているために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが豊かに育つ社会をどのように実現すればいいか、考えて実践しようとする。		
			1 高齢社会・大規模社会の到来	・高齢社会の到来を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するために、家族や地域によるような支援が必要か、考える。		
6月	第4章 高齢社会を共に生きる	2 高齢期の心身の特徴	・高齢期に心身の老化や運動量の減少や課題について理解を深める。 ・高齢者を支える社会の仕組みや課題について考える。			
		3 高齢者の自立を支える	・高齢者の自立を支えるために臨みだせる適切な支援の方法や関わり方を考える。			
		4 これからの高齢社会	・これからの高齢社会の課題を理解する。 ・自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするために、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。			
		1 私たちの生活と福祉	・誰もが生活を通して自分の力を生かす。必要に応じて援助を求めながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。			
7月	第5章 共に生き、共に支える	2 社会保険の考え方	・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの仕組みについて理解する。			
		3 共に生きる	・私たちが多様性を発揮して共に暮らす社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながりつければいいか、考えて実践しようとする。			
		1 食生活の課題について考える	・よりよい食習慣を身に付け、生活を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を豊かにするための食文化の重要性を理解する。			
8月	第6章 食生活をつくる	2 食料と栄養・食品	・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や安全性について、科学的な理解を深める。			
		3 食料の選択と安全	・安全で健康的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食中毒アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身に付ける。			
		4 食生活の課題を見直した食生活計画	・自分や家族の食生活を計画・管理できるようにするために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康に良い、栄養バランスの良い食事」とはどのようなものかを理解する。			
		5 食生活の課題	・食生活の自立に必要な知識の習得と技術の身に付けるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関する理解を深める。			
		6 食生活の文化と知識	・食文化や食生活の歴史や文化の背景・発展のために、日本の食文化の発展を理解する。 ・世界の食文化に目を向け、私たちの食生活への影響について理解する。			
後期	10月	第7章 衣生活をつくる	1 衣生活の役割を考える	・私たちが健康を営む上で、社会的・文化的背景と多様な価値観や課題について理解する。 ・用途に合った服装を選択できる力を身に付けるために、衣生活を支えるための衣生活の役割を理解する。		
			2 衣生活を入手する	・健康・快適・安全な衣生活を営むために必要な知識や技術について理解する。 ・健康や安全を考慮して適切な衣生活の計画を立てるために、衣生活の科学的な理解を深める。		
			3 衣生活を管理する	・手洗いや洗濯の適切な方法を身に付けることができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。 ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身に付けるために、衣生活の科学的な理解を深める。		
			4 衣生活を評価する	・これまで学習してきた衣生活の知識、実践と管理の知識を応用しながら、目的に合った衣生活を制作するために、衣生活の科学的な理解を深める。		
			5 衣生活の文化と知識	・現代に受け継がれる日本の衣生活の工夫を歴史的背景から、日本の衣生活の発展や日本の衣文化に込められる知識や技術について知り、日本の衣文化の発展や世界の衣文化について理解する。		
	11月	第8章 住生活をつくる	6 これからの住生活	・次世代に引き継ぐ住生活の在り方を考えるために、住生活の意義の理解や自分の住生活を見直す。 ・全ての人が健康・安全・快適な住生活を営むためのユニバーサルデザインの住生活について理解を深める。		
			1 住生活の意義と住生活の環境	・生活を営む住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支える住生活の環境やライフステージごとの住生活の課題を理解する。		
			2 安全で快適な住生活の計画	・自分の住生活に生かすことができるよう、防災、日課、換気などに必要な環境性について理解を深め、快適かつ健康、安全な住生活を行うための住生活の計画を立てる。		
			3 住生活の文化と知識	・日本の住文化の歴史・発展に習って、環境や暮らしの進化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。		
	12月	第9章 経済生活をつくる	4 これからの住生活	・持続可能な住生活や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。		
			1 住生活の意義・比較と意思決定	・自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。		
2 購入・支払いのルールと方法			・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法は多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。			
1月	第10章 持続可能な生活を営む	3 消費者の権利と責任	・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるように、消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の両方を果たすために、どのような消費者の責任が果たせるかを考えて実践しようとする。			
		4 生涯の経済生活を見直す	・生涯にわたる経済生活を見直すために、経済的自立の重要性や生涯を見直す必要性について理解する。			
		5 家計をマネジメントする	・生涯を見直して家計をマネジメントする力を付けるため、家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解する。			
		6 これからの経済生活	・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力を付けるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるかを考えて実践しようとする。			
2月	第11章 これからの生活を創造する	1 持続可能な社会を目指して	・持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境との関わりについて理解する。			
		2 一人一人の力で社会を動かす	・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていくこととする。			
2月	第11章 これからの生活を創造する	1 生活をデザインする	・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるように、各ライフステージの課題や生活課題、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるかを考えて実践しようとする。			